

令和8年度 大田区立東六郷小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和8年9月1日

・教育目標 「思いやりと正義感のある子」「自ら学び考える子」「健康で明るい子」 【校訓】「やさしく かしく 元気よく」
・今年度は 開校65周年を迎え、様々な行事は周年を意識した取組を行っている。
・令和8年8月末現在 児童数 352名 学級数 13学級 平成30年に新校舎が完成し、3分の1が芝生の広い校庭。
・校内研究主題 「自分の考えを表現できる児童の育成～読むここの活動を通して～」を掲げ2年目となり、国語科の学習を通して児童の学力と、教員の指導力向上に取り組んでいる。

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄						
								評価	人数	コメント				
生涯学習の推進 社会の発展に 貢献する	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		児童アンケートによる次の項目において、肯定的な回答をした合計の割合	4: 80%以上		A						
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		①総合的な学習の時間や生活科の学習などで、めあてを立てて活動に取り組むのが好きだ。	3: 70%以上								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		②友達と一緒に活動したり、お互いの考えを話し合ったりすることが楽しい。	2: 60%以上								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
		④縦割り班活動や異学年合同の活動の機会を設け、他者と協働していく力の育成と共に、自己肯定感の醸成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		③本やインターネットを使って、自分の知りたいことを調べることができる。	1: 60%未満								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
		国際化の推進 グローバルな 人材を育成する	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。			児童アンケートによる次の項目において、肯定的な回答をした合計の割合	4: 80%以上			A		
					3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
					2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。									
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。														
②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。				①外国語の学習などで、英語を話すことを頑張っている。	3: 70%以上								
	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。				②総合的な学習の時間や社会科、生活科などで、地域や郷土のことを知るの楽しい。	2: 60%以上								
	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。													
	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。													
						1: 60%未満								
一人ひとりの 個性と能力を 伸ばす	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。			①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		児童アンケートによる次の項目において、肯定的な回答をした合計の割合	4: 80%以上		A				
					3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。									
		2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。												
		1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。												
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		①授業中、勉強がよく分かる	3: 70%以上								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		②道徳科で、考えたり話し合ったりするのが好きだ。	2: 60%以上								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		③「早寝早起き朝ごはん」を今も続けている。	1: 60%未満								
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
		⑤朝読書・読み聞かせ・語彙の学習を朝学習の時間で行い、言葉の力を豊かにする教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。											
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。											
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。											
1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。														

学 校 別 力 ・ 標 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す		校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケートによる次の項目において、肯定的な回答をした合計の割合 ①子どもたちにとってわかりやすい授業をしている。 ②授業や補習・朝学習などを通して、子どもたちに学力・体力がついてきている。	4:80%以上			A		
			②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			3:70%以上					
			③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。			2:60%以上					
			④教員は校内研究やOJTを通して、自分自身の指導力を向上させる取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。			1:60%未満					
た 自 個 め 分 別 の ら 目 学 し 標 び く 5 を い 支 援 い き と 生 き る		困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者と児童アンケートによる次の項目において、肯定的な回答をした合計の割合 ①教職員に子どものことについて相談しやすい。 ②ポッチャーナメントは楽しい。	4:80%以上			A		
			②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。			3:70%以上					
			③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			2:60%以上					
			④ポッチャ大会、城南特別支援学校との交流等を通して、オリンピック・パラリンピック教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			1:60%未満					
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 的 境 な を 学 っ 習 く 空 り 間 と す 安 全 ・		学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケートによる次の項目において、肯定的な回答をした合計の割合 ①地域の人材や施設を教育活動に生かしている。 ②子どもたちの安全性を高める指導や訓練を行っている。	4:80%以上			A		
			②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			3:70%以上					
			③問題解決学習やセーフティ教室の中で、発達段階に応じたICTモラル教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			2:60%以上					
							1:60%未満					
学 地 学 個 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 く ユ 庭 フ リ ニ ・ ま テ 地 サ イ 域 の 核 連 と 携 し ・ て 協 働 に よ る		地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		保護者アンケートによる次の項目において、肯定的な回答をした合計の割合 ①学校は地域・保護者からの質問や要望に対して丁寧に対応している。 ②登下校の安全が守られていると感じている。	4:80%以上			A		
			②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			3:70%以上					
			③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。			2:60%以上					
							1:60%未満					

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す